

# 予防接種はお済みですか？

松本市こども部保育課（2021.9）

集団生活を始めると、さまざまな病原体にさらされます。感染症等により体調を崩すお子さんも多くいます。保育園・幼稚園では、発熱や下痢・嘔吐のときは、登園を控えていただくようお願いしています。また、学校保健安全法をもとに、登園停止をお願いする感染症もあります。予防接種により防げる感染症がありますので、必要な予防接種は入園前に接種し、大切なお子さんを感染症から守りましょう。



## 1 定期予防接種（公費補助の対象年齢の方は、無料で受けられます。）

予防接種の種類	標準的な接種時期と回数	公費補助対象年齢	病気の特徴・接種にあたっての注意事項
BCG 〔生ワクチン〕	5～8か月に1回	～1歳未満	結核を予防するワクチンです。公費補助期間を過ぎた場合の接種費用は自己負担になりますが、4歳未満のお子さんは接種することをお勧めします。
四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ） 〔不活化ワクチン〕	3,4,5か月に各1回（3回目接種後） 12～18か月に1回	3か月～90か月未満（～7歳6か月未満）	ジフテリアは重症の場合心臓に炎症を起こし死に至る病気です。破傷風は土壌にいる破傷風菌が傷口から入ることで筋肉に影響する病気です。百日咳は感染すると咳が長引く病気です。ポリオは体が麻痺する病気です。7歳6か月前日まで公費で受けられますので、受け忘れがある場合は早めに受けるようにしましょう。
麻しん風しん混合（MR） 〔生ワクチン〕	12～23か月に1回 2期：5～6歳に1回	1期：1歳～2歳未満 2期：年長時	麻しん（はしか）は非常に感染力が強い病気で、感染すると1,000人に1人の割合で脳炎を起こします。治療薬がないためワクチン接種がとて大切で、風しんは三日ばしかとも呼ばれ、こちらも特効薬がありません。妊婦さんが感染すると生まれてくる子どもに影響（心臓病、難聴、白内障など）がある場合があります。公費補助期間が短いので注意が必要です。とても大切なワクチンですので、接種年齢を過ぎてても、全額自己負担になりますが、受けるようにしましょう。
水痘（水ぼうそう） 〔生ワクチン〕	12～15か月に1回 1回目から6～12か月後に1回	1歳～3歳未満	水ぼうそうはとても感染力が強く、園でもしばしば集団発生します。接種年齢を過ぎてても自己負担で受けることができます。
ヒブ （インフルエンザ菌b型） 〔不活化ワクチン〕	2,3,4か月に各1回（3回目接種後） 7～13か月に1回	2か月～5歳未満	細菌性髄膜炎の半数以上の原因菌であるインフルエンザ菌b型に有効な予防接種です。髄膜炎を起こすと麻痺などの後遺症を残すことがあります。接種開始時期により必要な接種回数が違うので、受け漏れがないか注意が必要です。
小児用肺炎球菌 〔不活化ワクチン〕	2,3,4か月に各1回 12～15か月に1回	2か月～5歳未満	ヒブと同様、細菌性髄膜炎を起こす肺炎球菌に有効な予防接種です。接種開始時期により必要な接種回数が違うので、受け漏れがないか注意が必要です。
日本脳炎 〔不活化ワクチン〕	1期初回：3歳で2回 1期追加：4歳で1回	6か月～90か月未満（～7歳6か月未満）	蚊が媒介する日本脳炎ウイルスによっておこる病気を予防するワクチンです。日本でも毎年、ウイルスをもった蚊が確認されています。感染すると重篤な脳炎を起こす可能性があります。
B型肝炎 〔不活化ワクチン〕	生後2か月に1回 1回目から27日以降に1回 1回目から139日以降に1回	～1歳未満	血液や唾液や体液（汗や涙）などから感染します。3歳未満で感染するとウイルスが肝臓にすみつくこと（キャリア化）が多く、ゆくゆく慢性肝炎や肝硬変、肝がんを発症する可能性があります。平成28年4月以降に生まれたお子さんは定期接種になりました。
ロタウイルス ロタリックス（経口生ワクチン） ロタテック（経口生ワクチン）	2回 3回	出生6週0日後～ 出生24週0日後まで 出生32週0日後まで	ロタウイルスにより下痢や嘔吐など胃腸炎症状をおこす病気です。ロタウイルスは感染力が強く、ごくわずかなウイルスが乳児が感染すると重症化しやすく、脳炎や脳症により後遺症が残ることもあります。令和2年10月1日より、令和2年8月以降に生まれたお子さんは定期接種になりました。ワクチンは2種類あり、どちらか一方を接種します。

## 2 任意予防接種（有料ですが、一部補助があります）



B型肝炎 〔不活化ワクチン〕	4週間隔で2回、 1回目から20～24週を経過後に1回	補助金額 2,500円 （1歳～年長相当） 補助は3回	定期接種の対象とならないお子さんも、年長相当（小学校就学前3月31日）まで補助があります。接種補助券が必要ですので、健康づくり課へお問い合わせください。なお、補助は、令和4年3月31日をもって終了となりますので、ご希望の方は、ご注意ください。
おたふくかぜ 〔生ワクチン〕	12～23か月に1回 5～6歳に1回	補助金額 3,000円 （1歳～2歳未満）	おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）はムンプスウイルスにより耳下腺が腫れる病気です。髄膜炎や難聴を起こすこともあるので注意が必要です。1回の接種より2回接種する方が免疫が付きやすくなります。松本市では一部の年齢に補助をしています。補助券が必要ですので、健康づくり課へお問い合わせください。補助期間以外でも自己負担で（1回6,000円程度）受けることが望ましいです。
インフルエンザ 〔不活化ワクチン〕	13歳未満 2～4週間隔で2回 13歳以上 1回	補助金額 医療機関の定める費用の半額 （生後6か月～小学校6年生） 補助は年度内2回	インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が急速に現れるのが特徴で、毎年冬になると流行します。子どもでは、まれに急性脳症や、免疫が低下していると二次性の肺炎を起こす等、重症になることがあります。この重症化を予防するために、有効なワクチンです。接種時期に、補助対象のお子さんには、予防券が送付されます。指定医療機関に事前予約をし、受けることができます。

\*接種にかかる金額は医療機関によって異なります。

## 3 接種間隔の注意

別の種類のワクチンを受ける場合は、注射生ワクチンから注射生ワクチンは、中27日以上あける必要があります。新型コロナウイルスワクチン対象年齢の場合で新型コロナウイルスワクチンを接種する場合は、別の種類のワクチンとの接種間隔を、前後2週間、あける必要があります。同じ種類のワクチンを複数回接種する場合の接種間隔は、ワクチンごとに定められています。接種スケジュールは、かかりつけ医とよく相談し、適切な時期に接種するようにしましょう。（標準的な接種回数、標準的な接種年齢は、定期接種実施要領・日本小児科学会推奨等によります。）



予防接種に関するお問い合わせは・・・ 松本市保健所 健康づくり課（TEL.34-3217）

# 予 防 接 種

( 問い合わせ先：松本市保健所健康づくり課 電話：34-3217 FAX：39-2523 )

## 子どもの予防接種

下記を参考に、計画的に接種しましょう。接種のタイミングがずれた場合は、かかりつけの医師に相談しましょう。

**定期**：無料（対象年齢内、規定の接種方法で受ける場合無料）

**任意**：有料（自費）



### 〇予防接種の種類とスケジュール

予防接種の種類	対象年齢	標準的な接種スケジュール（おすすめの接種時期）																				
		2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 - 7 か 月	8 か 月	11 か 月	12 か 月	15 か 月	17 か 月	18 か 月	23 か 月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳 以上
不活化ワクチン B型肝炎 <b>定期</b>	1歳未満	①	②			③																
不活化ワクチン Hib (インフルエンザ菌b型) <b>定期</b>	生後2か月～5歳未満	①	②	③						④												接種開始の月齢によって、接種回数異なります。
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌 <b>定期</b>	生後2か月～5歳未満	①	②	③						④												接種開始の月齢によって、接種回数異なります。
経口生ワクチン 〇タ	ロタリックス ロタテック	任意または定期	出生6週0日後～24週0日後	①	②																	※R2年8月1日以降生まれのお子さんは、R2年10月1日から定期予防接種になりました。
不活化ワクチン DPT-IPV (ジフテリア・百日せき 破傷風・ポリオ) <b>定期</b>	1期：生後3か月～7歳6か月未満		①	②	③						④											
不活化ワクチン DT (ジフテリア・破傷風) <b>定期</b>	2期：11歳～13歳未満																					11～12歳①
生ワクチン BCG (結核) <b>定期</b>	1歳未満					①																
生ワクチン MR (麻しん・風しん) <b>定期</b>	1期：1歳～2歳未満 2期：小学校就学前1年間の間									①												年長②
生ワクチン 水痘 (水ぼうそう) <b>定期</b>	1歳～3歳未満									①		②										
生ワクチン おたふくかぜ <b>任意</b>	1歳以上									①												年長②
不活化ワクチン 日本脳炎 <b>定期</b>	1期：生後6か月～7歳6か月未満 2期：9歳～13歳未満																① ②	③				9～12歳④
不活化ワクチン HPV (子宮頸がん) <b>定期</b>	小学校6年生～ 高校1年生相当の女性																					平成25年6月14日付けの厚生労働省通告により、接種の勧奨を中止しています。 なお、接種を希望する場合は、定期接種として接種できます。
不活化ワクチン インフルエンザ <b>任意</b>	生後6か月以上 (ワクチンによっては1歳以上)																					毎年(10月、11月など)①、② 13歳から①

任意接種は、接種を希望される方が医師と相談して接種を進めてください。

丸囲み数字(①、②など)は、接種の回数を示しています(例②→2回目)

白抜き部分は予防接種の対象年齢です。丸囲み文字(①、②など)は、好ましい時期の1例を示しています。

任意接種のスケジュール例については、日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールです。